

# ザ・特定行為実践

第3号  
2023年8月 作成  
特定行為研修室 発行  
森永:PHS3126

## 山内 康佑：所属部署 手術室

### 修了した特定行為【術中麻酔管理領域】

研修：  
2023年3月修了

呼吸器（気道確保に係るもの）関連	・経口用気管チューブ又は、経鼻用気管チューブの位置調整
呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	・侵襲的陽圧換気の設定変更 ・人工呼吸器からの離脱
動脈血液ガス分析関連	・直接動脈穿刺法による採血 ・橈骨動脈ラインの確保
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	・脱水症に対する輸液による補正
術後疼痛管理関連	・硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の投与及び投与量の調整
循環動態に係る薬剤投与関連	・持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整



2023年4月から手術室で特定行為研修修了者として活動を行っています。長年、手術室で働いてきたこともあり、患者にとって安全、安楽な周術期看護を提供したい、手術室のために役に立ちたいと思い研修を受講しました。研修後の主な活動内容は術中麻酔管理、周術期外来での診察を行っています。

#### ☆術中麻酔管理☆

麻酔科医師の指導の下、術中麻酔管理に必要な特定行為を実践しています。技術を身につけることや、麻酔の理解を深めるために日々学習の毎日です。

術中麻酔管理は、医師のタスクシフトだけではなく、麻酔科医師、看護師の両方の視点から患者を見ていくことで、安全につながるのではないかと考えています。



#### ☆周術期外来☆

2023年7月より、周術期外来を開始しました。特定行為と聞くと行為にばかり注目されると思いますが、研修で学んだアセスメントする力を活かし周術期外来を行っています。周術期外来では、周術期のリスク評価や麻酔、手術体位の情報提供を行い、安心・安全な周術期医療の提供を目指していきます。また、休薬忘れなどによる手術直前での中止や延期を回避することが期待されています。

特定行為研修で学んだ知識やフィジカルアセスメントで手術を受ける患者の安全に寄与できるよう患者と向き合っていきたいと思っています。



基本的に、**所属部署の業務フィールド内・通常勤務時間**に特定行為研修で学んだことを活用し、特定行為実践に取り組んでいます。今後ともご支援宜しくお願い致します。

特定行為や研修修了看護師について、何かご質問等がありましたら、特定行為研修室担当 森永までご連絡ください。